



A 試合会場レポート

試合番号 121

開催日 2024/12/15

令和6年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 男子

会場：Asueアリーナ大阪

観客数：	2, 629	開始時間：	12:00	終了時間：	13:29	試合時間：	01:29	主審：	林 淳一	副審：	原 啓之
------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	------	-----	------

サントリーサンバーズ大阪



監督：オリビエ キャット
コーチ：米山 達也

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3

25	第1セット 【 00:25 】	21
25	第2セット 【 00:29 】	22
25	第3セット 【 00:29 】	22
	第4セット 【 】	
	第5セット 【 】	

ポイント

【 】内はセット時間

ポイント

-

() 内は交代選手

-

ウルフドッグス名古屋



監督：バルドヴィン ヴァレリオ
コーチ：深津 貴之

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

非常に良い週末でした。うまく3日間を通してチームコントロールをすることができました。多くの選手を使うこともでき、チーム全体でよいプレーをすることができました。特に準々決勝と、準決勝のパフォーマンスは素晴らしかったと思います。この結果に浮かれることなく、もっとチームを押し上げていく必要はありますが、この先のチームの成長が楽しみです。来週の決勝戦に進むことができ嬉しく思います。こういう機会を通してチームもより成長できると思います。選手もスタッフもこのようなチャレンジに全力で取り組むことが重要なので、引き続き引き締めてがんばっていきます。たくさんの応援ありがとうございました。

<監督コメント>

令和6年度天皇杯・皇后杯全日本選手権大会が、ここ大阪の地で開催されること、おめでとうございます。日々、選手たちは小さな目標をクリアしながら決して終わることのない努力を重ね戦ってきました。そのような選手たち、支えるスタッフと共に仕事ができることを本当に嬉しく思います。また、試合会場へお越しいただいたウルフドッグスファミリーの皆さま、配信を通じて声援を送っていただいた皆様の熱い声援のおかげで、戦いぬくことができました。今まで、不可能と思うことをチーム全員で、可能にできました。今日という1日を忘れずに、チーム一丸となって成長し続けます。大切な次の試合に向けて、良い準備をしていきます。又、お会いできることを楽しみにしております。Let's Take a Step Ahead!

25	大宅 (柏田)	小野寺 ()	第1セット	小山 (水町)	ウルナウト ()	21
	高橋 (藍)	アライン ()		ニミル ()	深津 (リヴァン)	
	鬼木 (甲斐)	ムセルスキー ()		山崎 ()	傳田 ()	

リベロ： 藤中 (颯)

リベロ： 渡辺

25	小野寺 ()	アライン ()	第2セット	小山 (高梨)	ウルナウト ()	22
	大宅 (柏田)	ムセルスキー ()		ニミル ()	深津 ()	
	高橋 (藍)	鬼木 (甲斐)		山崎 (水町)	傳田 ()	

リベロ： 藤中 (颯)

リベロ： 渡辺

市川

25	小野寺 ()	アライン (アレクサンデル)	第3セット	傳田 ()	ウルナウト ()	22
	大宅 (柏田)	ムセルスキー ()		深津 (リヴァン)	ニミル ()	
	高橋 (藍)	鬼木 (甲斐)		水町 ()	小山 (山崎)	

リベロ： 藤中 (颯)

リベロ： 渡辺

市川

	()	()	第4セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	

リベロ：

リベロ：

	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	

リベロ：

リベロ：

<要約レポート>

男子準決勝第1試合はサントリーサンバーズ大阪とウルフドッグス名古屋が対戦した。第1セット、サントリーは大宅のサーブでWD名古屋のレシーブを崩し、ムセルスキーのアタックなどでリードを奪うと、そのままこのセットを取った。第2セットはWD名古屋がウルナウトのアタックや深津のサービスエースなどで先行した。一方サントリーは大宅のブロックや高橋 (藍) のバックアタックなどで逆転すると、鬼木やムセルスキーのブロックや高橋 (藍) のサービスエースなどでリードを広げ、セットを連取した。迎えた第3セット、WD名古屋はニミルやウルナウトのアタックで、サントリーは小野寺やムセルスキーのアタックで得点を重ねた。サントリーは高橋 (藍) のアタックや小野寺のブロックでリードを奪い、そのリードを守り切って勝利し、次週の決勝戦に駒を進めた。

作成者： 山口 岳夫